

100歳も現役、大作を集め記念展

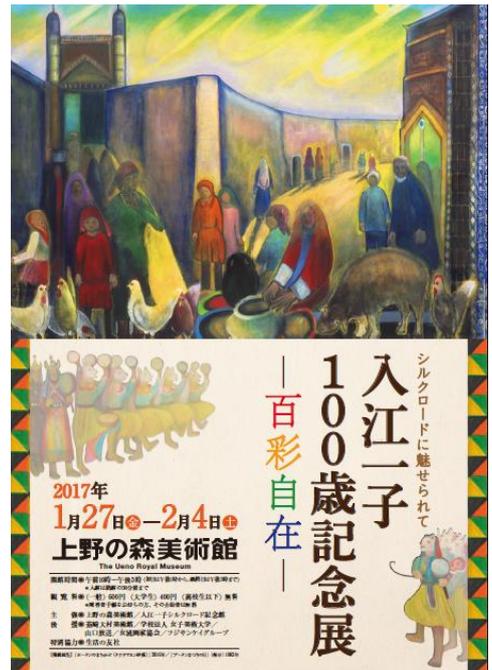
JR阿佐ヶ谷駅北口から、商店街を抜け10分ほどの住宅街に、シルクロード記念館があります。昨年5月に、100歳を迎えた洋画家・入江一子さんの美術館兼アトリエで、今でもほとんど毎日、絵筆を握って創作活動に取り組んでいます。その入江さんの100歳を記念した記念展「百彩自在」が、1月27日から2月4日まで、上野の森美術館で開催されます。週末を中心に、入江さんご本人が会場で解説するそうで、運がよければみなぎるパワーを分けてもらえるかもしれません。

入江一子さんは、1916年5月生まれの100歳。しかし、100歳の現在も創作意欲に衰えはなく、現役の画家として活動を続けています。その原動力を知る出来事として、区の広報課が、3年前に入江さんの活動取材に行った際、97歳の入江さんは100歳を記念する展覧会を計画していて、すでに三越の会場を予約していることを知り、本当に前を向いて突き進んでいることを感じました。その日本橋三越本店の100歳記念展も、昨年秋に多くの来場者を集め行われました。

今回の記念展は、これまでの入江さんの作品展としては、最も大規模なもので、100号、200号という大作を中心に130点あまりが展示されています。その作品は、入江さんが幼少期を過ごした韓国や中国など東南アジアからヨーロッパのシルクロードをテーマにしたもので、色彩の豊かな作品に圧倒されます。

会場には、週末を中心に入江さんが直接絵画の解説をする機会も予定されていて、運が良ければ作品一つひとつにまつわる苦労話などを、入江さん本人から聞く事が出来ます。また、生涯現役を貫く入江さんの生き方に触れることがあるかもしれません。

また、入江さんの100歳を記念して制作された入江一子100歳記念展画集『百彩自在』（税込2000円）や入江さんの創作活動の足跡をまとめたDVDブック『気と骨スペシャル』（税込1500円）は、記念展の会場でも購入が可能です。



◆入江一子100歳記念展—百彩自在—

- ・会期 2017年1月27日～2月4日 午前10時から午後5時まで
*初日は午後1時から。最終日は午後3時まで。入場は閉館の30分前まで。
- ・場 所 上野の森美術館（台東区上野公園1-2）
- ・観覧料 一般600円・大学生400円・高校生以下無料
*障害者手帳をお持ちの方、その介助者は無料

[問い合わせ先] 入江一子シルクロード記念館 03-3338-0239